

令和3年 成人式を迎えられた皆さんへ（町長メッセージ）

輝かしい令和3年の幕開けとともに、人生の門出を迎えられました新成人の皆様、誠におめでとうございます。立派な成人になられたことを心からお慶び申し上げます。

また、今日まで深い愛情をもってお子さんを立派に育て上げられた、ご家族の皆様におかれましても、重ねてお祝い申し上げます。

さて、昨年は予想もしなかった「新型コロナウイルス感染症」の嵐が吹き荒れた一年となり感染の拡大は、今もお、私たちの生命や健康を脅かし、人や物の移動を遮断するなど社会経済のいたる所で今もお大きなダメージを与えています。

また、本県でも感染が急激に拡大している現状を踏まえ、新成人の皆さんをはじめ、ご家族、町民の皆様方の健康と安全を第一に考えるとき、本町での今年の成人式をやむを得ず中止することといたしました。

成人式の開催を楽しみにされていた、新成人やご家族の皆様には大変残念なことではなかったかと思いますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

ここで、皆さんがお生まれになられた平成12年のことを思い返してみますと、一世紀の節目の年である西暦2000年ということで、その年に生まれた子どもたちは『ミレニアムベビー』として話題となりました。

また、コンピューターの高性能化や通信の高速化などによってインターネットの利用が急速に普及し、新しい時代の幕開けとなったものの、情報格差の深刻化が問題となるなど、こうした情報化社会への動きは「IT革命」と呼ばれこの年の新語・流行語大賞にも選ばれました。

この年の9月にはオーストラリアシドニーでオリンピックが開催され、女子マラソンでは高橋尚子選手が当時のオリンピック最高記録で優勝し、その功績から女子スポーツ界で初の国民栄誉賞を受賞されたことは今でも記憶に新しいところです。

また、柔道競技では、それまで2度出場したオリンピックでどちらも銀メダルと、悔しい思いをした「ヤワラちゃん」でお馴染みの 谷 亮子選手が3度目のオリンピックで悲願の金メダルを獲得し、日本中が大きな感動に包まれるなど、お二人の活躍や、新時代の到来と21世紀への夢や希望を託したいという思いもあって、その年の世相を表

す『今年の漢字』には「金」が選ばれました。

本町では、平成9年度から架け替えが行われていた国道205号線に架かる『川棚大橋』が完成し、開通式では多くの町民の皆様と共に橋の完成をお祝いしました。

あれから二十年、あの頃に生まれた皆さんがもう成人式を迎えられたのかと思うと、歳月の流れの速さにとっても感慨深いものがあります。

皆さんは、いま将来への夢や希望を大きく膨らませていることと思います。そして、それらは全て可能性に満ちています。

しかし、これからの長い人生には、様々な厳しい現実が待ち構えています。日々の生活の中で将来に対する不安や悩みに直面し、時には失敗し、自分に自信がもてなくなることや、何もかもから逃げ出したいときがあるかもしれません。

でも、そんなときは焦らずに、様々な可能性の中から、本当に自分のやりたいこと、小さくても確実なものを見つけ出し、試行錯誤しながらそれに向かって全力で前進してください。必ずそこから光が見えてくるはずです。

ふるさと川棚で培われた豊かな感性と人を思いやる心、そして、行動力と勇気で、自分の希望への第一歩を力強く踏み出し、次代の川棚町の担い手として、そして日本の未来を託された若者として、大きく羽ばたいてください。

新成人の皆さん、一人ひとりが川棚町の大切な宝であり、町民皆様が新成人の皆さんのこれからの熱い期待を寄せ、温かく見守っています。

結びに、これまで新成人の皆さんを献身的に育ててこられたご両親への感謝の気持ちと、ふるさと「川棚」を愛する心を忘れることなく、希望に満ちた皆様の前途が素晴らしいものとなることを心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

令和3年1月9日

川棚町長 山口 文夫